

センターあけて市内各所で「社会奉仕活動」を展開

今年度2度目 全地域班が一斉清掃

各地公園、駅前周辺、主要街路、浅川堤防で

今年度2度目の全地域班一斉清掃が10月17日(日)、市内各地で実施されました。従来のボランティア活動に代わる「社会奉仕活動」。前回(7月18日)に続いて、各地域班の取り組みを順次紹介します。

Bブロック5班

日野駅前午前8時、Bブロックの5班(神明・白野台1・大坂上・栄町・新町)の班員54名が集合。初めに大坂上班の前班長・原田氏が現班長・遠山氏に代わり挨拶。終了時間を伝えて即、会員たちは担当地域の「集め作業」に向いました。

日野駅平△下の土手の植え込みには、人の目が届かな



Bブロック5班連合の皆さん

ためか空き缶やライターが都営団地の周辺には、一般の歩道にタバコの吸い殻が多く、「大幅なタバコ値上げも、愛煙家には関係ないのかねえ」と会話を交わしながら拾っていました。



第五幼稚園前に集った三沢班。左端は安藤事務局長

三沢班は午前9時、第五幼稚園前に19名が集まりました。大塚班長が開始の号令をかけると、折から駆けつけた安藤事務局長が激励の挨拶をしました。一同は隣の三沢たちばな公園の「集めをした後、二手に分かれて、程久保川に沿って一組は浅川

三沢班

会員数
平成22年9月30日
1,740名
男性 1,330名
女性 410名
入会者数
9月 18名
(男12名、女6名)
但し、退会者43名

多摩平2班

合流点まで、もう一組は七生公会堂入口付近まで「拾い」を進めました。

9時スタートの多摩平2班は大六天公園に15人(うち女性3名)が集合。豊田駅北口から真直ぐ延びる商店街を清掃。一見「がないように見えても、車道と歩道との境や植え込みから出てくるゴミ袋が膨らんでいきます。

『ボランティア活動中』と書いた黄色いのぼり旗を清水班長が持つて皆と一緒に移動していました。この活動が定着しているせいか、集合場所のマンションの住民や近所の人から挨拶されたり、親しげに声をかけてくる人もいました。(2面につづく)

学校関係統括リーダーに
片山輝雄氏(万願寺1班)

学校関係統括リーダーはしばらく空席でしたが、このほど片山輝雄氏(万願寺1班)が就任しました。

今回6ページ建て
3面「福祉支援センターで社会奉仕活動」
4面「フェア エイト」
5面「リサイクルウエブ」

月刊

さわやか

第43号
平成22年11月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421-581-8171

全地域班一斉清掃



大六天公園集合の多摩平2班



豊田駅北口を清掃中の多摩平1班



「さあ、行くぞ」多摩平2班



南平3班・南平駅近くで記念撮影

(南平3班 由邊班長提供)

(1面からつづく)

多摩平1班

多摩平1班は10時スタート。豊田駅北口に14人が集合しました。駅前ロータリーの「は以前より減ってきたとのこと。長年ボランティアをしてきた方ならではの言葉でしょう。

マクドナルド脇の坂を下り、歩道橋の足元辺りは上から投げ捨てる心無い人もいるらしく、「ゴミの多い場所です」と今井班長が説明。伸びた雑草の中で会員が拾った汚れたポーチを、皆で中身の確認をするとカード、通帳、証明書、多少の現金等が出てきて交番に届けるといつハプニングがありました。和気あいあいの社会奉仕活動でした。

南平3班

南平3班はどこよりも早い午前7時、南平駅近くに30名(うち女性4名)が集合。田邊班長の挨拶、記念撮影の後、駅周辺の商店街、路地の「集めをしました。折から中央大学の寮の学生たちもボランティア清掃を開始、老若合同の清掃風景が見られました。

理事会ニュース

第7回理事会 10月29日
審議事項 正会員の入会、役員の報酬等に関する規程(案)、コスモスアベニール跡地利用(案) 5面参照
報告事項 公益法人認定スケジュール、嘱託職員の採用、9月事業実績、各専門部会 安全管理委員会の活動報告

センター行事日程

12月3日(金) 就業期限確認書交付式 生活・保健センター
12月14日(火) 地域班ブロック長会議 センター会議室

人事往来

事務局の嘱託職員として佐藤 壮之氏が11月1日付で採用されました。

訃報欄 該当者はありません。

配分金の支払日
11月19日(金)
12月20日(月)
1月20日(木)
2月18日(金)
3月18日(金)
4月20日(水)
5月20日(金)

職場単位で初の「社会奉仕活動」

福祉支援センター就業会員が生垣剪定

多摩モノレール高幡不動駅近くの福祉支援センターで受付業務をする当センター会員の5名(太田 酒井 菅原 高木 田中の各氏)が、休館日の10月24日(日)午後1時から、施設周辺200mほどの生垣の剪定と草取りのボランティア活動を行いました。

正門の北側はツゲの枝が伸びて狭い歩道に30cmも突き出し、南側はうっそうと雑草が茂り、サザン力を覆っている状況。そこで職場リーダーの太田氏、実行委員の高木氏を中心に、8月ごろから自分達で垣根の剪定と草取り作業をしようと話し合い、全員が参加できる日程、作業内容を決めました(当初予定から一度雨天延期)。

就業者がなぜ? 理由は、市の状況が厳しく外注は困難とのことと就業させて頂いている発注者(市)に対し少しでもお役に立ちたい。新公益法人では「社会奉仕活動」が「就業活動」と並んで大きな柱となり、活発な「社会奉仕活動」が期待されている。など。



剪定作業の開始

作業は、正門から北側と南側、さらに北東部分の3つに分かれ、各自持ち寄った道具で剪定や雑草刈りに取り掛かりました。通りかかりの婦人が「やっときれいになるのね。垣根のツゲは(歩道を通る時に)痛かったから」と声をかけてきました。ボランティアでやっていることを話すと、驚いた様子で「労いの言葉が返ってきました。作業は後片付けに時間がかかり、午後5時に終了。枝や雑草は大ゴミ袋40個分もありました。」

10月普及啓発月間 高幡不動駅前 センターPR活動

総務部会・広報部会・事務局
合同で計8名がチラシ配布

毎年10月はシルバー人材センター

の「普及啓発促進月間」(全国一律)。当センターでは、中央線豊田駅に横断幕を掲揚(4面参照)するとともに、昨年から京王線高幡不動駅前でもチラシ配布等のPR活動を行っています。

今年、総務部会4名、広報部会3名、事務局1名の総勢8名(昨年は5名)が10月5日、入会案内チラシやセンター名入りポケットティッシュを通行者に配りました。用意した300セットは約1時間間でなくなりました。

受け取る高齢者の方々からは「こんな仕事があるの?」「会費はいくら?」「入会の条件は?」など具体的な質問が出され、対話をするケースも多々見られました。



高幡不動駅前PR活動

それってなに?

普及啓発月間

正式には「普及啓発促進月間」と言います。毎年10月がそれに当てられ、全国シルバー人材センター事業協会の機関誌「月刊シルバー人材センター」の毎年10月号は月間特集号。毎月共通の「図で見る事業実績」のほか、ユニークなPR活動や魅力あるシルバー事業等の紹介をしています。当センターは、月間中の横断幕掲揚やチラシ配布のほか、福祉まつり、産業まつり、リサイクル・フェア等でも独自のPR活動をおこなっています。

新スローガン、新装で 横断幕掲揚 豊田駅

中央線豊田駅のご厚意で毎年10月、当センターPR用の横断幕を同駅コンコースに掲げさせていただきます。今年はスローガンを一新しました。会員の皆さんから公募した結果、渡辺敬明氏(三沢班)の作品「シルバで明るく元気な日野市をつくろう」が当選しました。

色調等も新装。カラー写真でないのが残念ですが、明るいグリーンのパックに、文字は「ワールド。左端にシルバ都連合のマーク「シルバ君」。」と愛用ください。



新スローガンの横断幕

2010 フェア・エイト 多摩市で開催 第七ブロック8市SCの催し(今年で最終回)

開会式・基調講演

今年度のシルバ人材センター(SC)第七ブロックの催し「2010フェア・エイト」が10月28日、多摩市関戸公民館で開催されました。開会式では、主催当番・多摩市SCの難波会長の挨拶の後、他の7SC会長が紹介されました。フェア・エイトは今回で8市SCを一巡し、これをもって終了することになりました。

基調講演は、「地域での働き場作りに向けて」のテーマで、約1時間お話がありました。

会員発表会・村上悦子さんも出演

他の主要イベントの一つは会員発表会。各SCの芸達者な会員が舞踊、歌劇、民謡、コーラス、手品等々を披露しました。日野市SCからは懐メロ・童謡教室の講師、村上悦子、森川琉子両氏が出演、村上さんのソプラノ、森川さんのピアノで歌劇「蝶々夫人より」ある晴れた日に「他を歌いました。



開会式で紹介された各SC会長。左から3人目が日野市SCの北村会長

村上さん、森川さん出演の詳しい記事と写真は、「シルバ」の1月号に掲載します。

男の料理教室

フェア・エイトでは珍しい企画。各SCから参加した男性8名が頭に三角巾をかぶり、エプロン姿で臨んだ料理は、餃子、餃子入り中華スープ、キュウリと大根のゆかり浅漬けです。

稲城SCの山崎氏が進行役で、講師は管理栄養士の大野ふさ子



会員交流会に参加した日野市SCの3人。左から渋谷さん、渡辺さん、吉本さん

先生。参加者の中には器用な包丁さばきの方も。日野市SCからは総務部会の賀来氏が参加。餃子の皮で包むのだけは得意だそうで慣れた手つきで形の良い餃子が次々と皿に並べられました。(「シルバ」の1月号に写真掲載)

会員交流会・女性の催し

午後の主要企画は、女性会員による交流会で、テーマは「女性会員の就業について」。各SCから2名、計16名が参加。日野市SCからは渡辺、渋谷両理事のほか、吉本広報部会員がオザーバ参加しました。(内容は次号掲載)

年度目 リサイクルフェアを開催 今年2 総務・事業部会が焼き鳥・焼き芋出店

今年度2回目のリサイクルフェアが10月23日(土)、リサイクル事務所の広場で開催されました。午前8時の作業開始にあたり、安藤事務局長が「好天に恵まれてよかった。今日一日だけが事故のないように」と挨拶しました。

開場は午前10時。入口のテントには山野草・ミニ盆栽が百種以上並べられています。「自分たちで増やしたものが主体で、珍しいもの、可愛いものが喜ばれます」と、担当の岩片さんが説明。

総務部会と事業部会が共同で



手芸品売り場

焼き鳥、飲み物、焼き芋のスタンドを出店。広場においしそうなお匂いが漂ってきます。昼過ぎには500本の焼き鳥が早くも完売となりました。

人気の中古自転車コーナーでは、20台をめざし87人が抽選券を持ってくじ引きが始まるのをいまや遅しと待っていました。例年どおり、紙すきや手芸班の出店も順調。



焼き鳥のスタンド

今回は稲城市から参加したグループが、タコ焼きと焼きそばのテントを出しました。「楽しく参加できてよかった」とエプロン姿で手伝っていた若い女性が答えてくれました。

家具売り場では黄色いジャンパーを着た会員が応対に追われて忙しそう。来客の方からは、「リサイクルフェア開催の回数をもっと増やして欲しい」との声がかれました。

搬送班が発足

世話役・宮下氏、班員10名で

当センターでは今年4月と8月、植木・草取り・草刈り作業の現場への資機(器)材の搬送と処理材撤収作業をする方の募集を行いました(本紙4月号掲載および8月号別冊)。その結果、新しい作業グループ「搬送班」がこのほど発足しました。班の世話役は宮下時男氏(多摩平2班)〓事務局臨時職員で、班員は目下、次の10名です(敬称略)。

岩淵建吉、小川靖彦、長田隆、柿沼三芳、河端博司、木村利正、高橋征生、田中信男、中西幸夫、安田勉

短信欄

コスモスアベニュー(2面関連) 豊田1丁目1番地、浅川堤防に沿った細長い区画で、これまでコスモスが植えられていました。



豊田1丁目のコスモスアベニュー

10月入会案内説明会に55名参加

さる10月13日に行われた説明会の参加者55名(うち女性19名)は、6月時の61名(同25名)に次ぐ多さです。

今年度後期(秋)の地域班会議、各班で順調にすすむ

後期地域班会議は10月から始まり、11月7日までに全33班中12班が終了しました。

今年度第2回

自動車安全運転講習会を実施

6日間に分け 運転就業者17名が順次参加

今年度第2回の自動車安全運転講習会が10月19、26日、多摩コース自動車教習所で実施されました。今回は1日1回、2、3人対象の少数集中方式でのべ6日間で計17名が受講しました。

17名の内訳は、搬送班11名(倉下氏を含む、5面参照)、市内交換便3名、家具転倒防止器具配布3名と、全員が自動車運転業務に従事する会員です。

10月22日午前、講習会4日目の様子を見てみました。受講生はわずか2人。教習所の平所長自らが教官となり、初めに運転実技。マンツーマンで約15分間、コース内を回り、終了後それぞれ細かい注意を受けていました。実技後は室内で安全運転講義。これもマンツーマン方式です。

受講生の一人、新藤誠一さん

〔平成22年度安全標語佳作から〕

自転車も車両と同じ 守ろう安全

交通法規

飯森 佳明 (万願寺2)



平所長のマンツーマン講義

家具転倒防止)は「この20年、30年で自己流の運転方式が身につけてしまっていた。たまにこうして自分の運転技術を磨いてみるのもよい」と反省。平所長は「受講は運転の健康診断」と言っていました。

軽微な事故が続発

今年度はや12件に
軽微事故一覽表 (H22年度)

発生日時	当事者	仕事の内容	事故の状況
4/12 午前	男性(64)	送迎業務	施設内で車移動中、縁石に接触、タイヤを擦傷
5/21 午後	男性(73)	送迎業務	施設内で車を後進中、外壁柱に接触、後部破損
6/1 午後	男性(66)	送迎業務	左折時隣の車に接触、フロントバンパーを大破
6/4 午前	男性(65)	公園巡回	トラックで運行中、荷台の上部を柱に当て破損
6/11 午前	男性(67)	植木剪定	剪定作業中、脚立等で草花を踏み倒し、伐採した。
8/20 午後	男性(64)	送迎業務	送迎業務終了後、気分が悪くなった。熱中症
8/23 午前	男性(71)	駐車場管理	帰宅する際、ブロックに左足小指をぶつけた。
9/22 午前	男性(72)	送迎業務	降車の際、サイドブレーキが甘く後進、後部損傷
9/25 午後	男性(62)	配給業務	交差点内で左から来た車と衝突、車両前部を損傷
10/13 午後	男性(67)	配給業務	後進した際、保育園の壁に車右後部をぶつけた。
10/15 午前	男性(65)	草刈り班	後進した際、駐車中の軽自動車の後部ドアに接触
10/19 午前	男性(61)	搬送班	駐車場から前進した際、アルミ扉に接触、損傷

市実施の特定健診、生き生き健診は必ず受けましょう

問合せ先 市健康課、保険年金課

老いの心模様

和田 美智子

後期高齢者、と呼ばれる年齢になっても心がついていけなかったが、杖を持つようになった近頃、ようやくその心境になってきた。

外出の際のひとさまの親切が身にしみる。バスに乗る時「お先にどうぞ」と列の前から声がかかる。乗り込むと「さあ此処へと席を譲られる。降りる時には「気をつけて」と運転手さんから一言をもらい有難うの連続だ。

以前は声をかけられても煩わしく思ったり、情けなく感じたりしたものだったが、今は素直に有難い。心と身体のバランスがとれてきたせいかしら。

「大丈夫？」や「つてあげるよ」手伝うから」と学齢前のおさな児達に言われて心が和む。

みんなからエネルギーをもらっている。まだまだこれからだ。さあ、気持ちを前向きにして残された未来に向かって進んでいこう。

「当センター主催「ユサセイ教室」(関根敦子講師)の受講生の方の作品で、関根先生監修です。」